



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月11日

上場会社名	あんしん保証株式会社	上場取引所	東
コード番号	7183	URL	<a href="https://anshin-gs.co.jp">https://anshin-gs.co.jp</a>
代表者	(役職名)代表取締役社長 (氏名)雨坂 甲		
問合せ先責任者	(役職名)取締役管理部担当 (氏名)中西 光明	(TEL)	03(6627)3440
定時株主総会開催予定日	2020年6月19日	配当支払開始予定日	2020年6月22日
有価証券報告書提出予定日	2020年6月23日		
決算補足説明資料作成の有無	: 無		
決算説明会開催の有無	: 有 (機関投資家・アナリスト向け)		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	3,542	11.3	383	39.5	454	33.6	299	43.3
2019年3月期	3,182	16.1	274	206.1	340	111.4	209	115.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	16.67	—	13.0	10.1	10.8
2019年3月期	11.63	—	10.1	9.8	8.6

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	5,054	2,435	48.1	135.11
2019年3月期	3,932	2,172	55.1	120.44

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,428百万円 2019年3月期 2,165百万円

### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,052	△77	△735	894
2019年3月期	△348	△85	664	655

### 2. 配当の状況 (2018年4月1日～2021年3月31日)

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	35	17.2	1.7
2020年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	35	12.0	1.6
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	2.00	2.00		13.5	

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、通期の対前年増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,801	7.3	370	△3.5	424	△6.7	266	△11.2	14.80

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	17,976,600株	2019年3月期	17,976,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期	112株	2019年3月期	－株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	17,976,491株	2019年3月期	17,976,600株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(表示方法の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(持分法損益等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

第18期事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

当事業年度におけるわが国経済は雇用・所得環境や企業収益の改善を背景に底堅く推移していましたが、期末にかけて新型コロナウイルス感染症の拡大が内外経済へ及ぼす影響懸念により、不透明感が高まる状況となっております。

賃貸住宅市場におきましては、令和元年度の新設住宅着工戸数が前年度比7.3%の減少となる中、貸家着工件数は前年度比14.2%の減少となり、3年連続の減少となりました。（国土交通省：建築着工統計調査報告 令和元年度計）

このような事業環境のもと、当社は重点施策として「トップラインの向上とブランド浸透」をかかげ、多様化する市場ニーズに応じた商品プランを提供することで新たな市場の開拓に取り組むとともに、あんしんブランドを体現できる人財の教育を行ってまいりました。また、システム化を推進することでお客様の利便性の向上を図ってまいりました。

営業収益は商品の多様化や加盟店営業の推進など、積極的な営業活動により保証債務残高及び新規保証実行件数が順調に増加した結果、3,542,472千円（前期比11.3%増）となりました。

営業費用は、3,158,978千円（前期比8.6%増）となりました。これは営業活動により加盟店へ支払う集金代行手数料が増加したため支払手数料が62,912千円増加（前期比6.1%増）となったほか、貸倒引当金の増加が前期増加分を上回ったため貸倒引当金繰入額が151,254千円増加（前期比45.3%増）、保証履行引当金の増加が前期増加分を下回ったため保証履行引当金繰入額が33,590千円減少（前期比84.3%減）したこと等によります。その結果、営業利益は383,494千円（前期比39.5%増）となりました。

営業外収益は、遅延損害金収入が11,793千円増加（前期比26.4%増）し、その他、前期は受取保険金8,275千円（当期発生なし）が発生していたこと等により77,698千円（前期比10.9%増）となりました。営業外費用は、当期に支払利息が1,901千円増加したこと等により6,890千円（前期比38.1%増）となりました。

税引前当期純利益は454,454千円（前期比40.1%増）となり、法人税、住民税及び事業税181,406千円（前期比26.4%増）等を計上した結果、当期純利益は299,673千円（43.3%増）となりました。

当社の事業セグメントは、家賃債務保証事業の単一セグメントでありますので、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

流動資産は、前事業年度（以下「前期」という）末比1,104,589千円（32.4%）増加の4,513,118千円となりました。これは、現金及び預金の増加238,818千円や自社保証の拡大等により収納代行立替金が850,470千円増加したこと等によります。

固定資産は、前期末比17,173千円（3.3%）増加の541,028千円となりました。これは、本社移転等による建物の増加16,391千円、繰延税金資産が26,639千円増加のほか、減価償却費の計上等によりソフトウェアが12,007千円減少したこと等によるものです。

#### (負債)

流動負債・固定負債の合計は、前期末比858,907千円（48.8%）増加の2,618,497千円となりました。これは、収納代行預り金が1,505,991千円増加したことのほか、短期借入金700,000千円減少したこと等によります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

第18期事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当事業年度における現金及び現金同等物は、894,799千円と前年同期と比べ238,818千円(36.4%)の増加となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は1,052,404千円(前事業年度は348,108千円の支出)であります。この主な増加要因は税引前当期純利益454,454千円、貸倒引当金の増加120,402千円、営業未払金の増加29,248千円及び収納代行預り金の増加1,505,991千円等であり、主な減少要因は求償債権の増加118,695千円、収納代行立替金の増加850,470千円及び法人税等の支払額166,964千円等であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は77,650千円(前事業年度は85,335千円の支出)となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出24,230千円、無形固定資産の取得による支出66,862千円等であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は735,935千円(前事業年度は664,167千円の収入)となりました。主な減少要因は、短期借入金減少による純支出700,000千円のほか、配当金の支払額による支出35,901千円であります。

### (4) 今後の見通し

2021年3月期については、新型コロナウイルス感染症の影響や収束時期が見通しにくく不透明感が強い状況ですが、政府による緊急事態宣言下の自粛効果による感染収束で、経済活動は少しずつ正常化に向かうものと見込まれます。

このような中、当社といたしましては、民法改正による連帯保証人から機関保証という大きな流れをとらえ、お客様のニーズに合った商品サービスを提供できるよう能動的な営業の強化を図るとともに、きめ細い債権管理体制を推進していく所存です。

これらの施策を積極的に推進することにより、2021年3月期の業績予想は、営業収益3,801百万円(前期比7.3%増)、営業利益370百万円(前期比3.5%減)、経常利益424百万円(前期比6.7%減)、当期純利益266百万円(前期比11.2%減)を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していること、及び国内の同業他社との比較可能性を考慮して、日本基準を採用しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	655,981	894,799
営業未収入金	467,379	480,906
求償債権	1,051,147	1,169,842
収納代行立替金	1,629,754	2,480,224
前払費用	20,323	27,496
その他	12,905	9,213
貸倒引当金	△428,963	△549,366
流動資産合計	3,408,528	4,513,118
固定資産		
有形固定資産		
建物	19,818	24,091
減価償却累計額	△16,198	△4,079
建物(純額)	3,620	20,011
車両運搬具	3,485	—
減価償却累計額	△3,485	—
車両運搬具(純額)	0	—
工具、器具及び備品	25,439	26,718
減価償却累計額	△20,083	△20,246
工具、器具及び備品(純額)	5,355	6,472
有形固定資産合計	8,975	26,483
無形固定資産		
ソフトウェア	267,000	254,993
ソフトウェア仮勘定	35,856	29,201
商標権	1,284	1,656
その他	140	140
無形固定資産合計	304,281	285,990
投資その他の資産		
投資有価証券	381	336
出資金	10	—
長期前払費用	2,325	1,202
繰延税金資産	144,375	171,014
その他	63,504	56,000
投資その他の資産合計	210,597	228,554
固定資産合計	523,855	541,028
資産合計	3,932,383	5,054,147

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	1,000,000	300,000
営業未払金	202,095	231,344
未払金	57,129	65,355
未払費用	27,380	23,662
未払法人税等	107,650	120,690
収納代行預り金	—	1,505,991
預り金	12,592	9,396
前受収益	176,681	168,931
賞与引当金	68,805	70,432
保証履行引当金	79,307	85,577
その他	13,896	24,510
流動負債合計	1,745,539	2,605,892
固定負債		
その他	14,050	12,605
固定負債合計	14,050	12,605
負債合計	1,759,590	2,618,497
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	680,942	680,942
資本剰余金		
資本準備金	435,942	435,942
資本剰余金合計	435,942	435,942
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,048,172	1,311,892
利益剰余金合計	1,048,172	1,311,892
自己株式	—	△33
株主資本合計	2,165,057	2,428,743
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	△30
評価・換算差額等合計	0	△30
新株予約権	7,734	6,936
純資産合計	2,172,793	2,435,649
負債純資産合計	3,932,383	5,054,147

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業収益	3,182,718	3,542,472
営業費用	2,907,771	3,158,978
営業利益	274,946	383,494
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	6	7
受取遅延損害金	44,717	56,510
償却債権取立益	16,614	19,417
受取保険金	8,275	—
その他	465	1,753
営業外収益合計	70,087	77,698
営業外費用		
支払利息	4,988	6,890
営業外費用合計	4,988	6,890
経常利益	340,045	454,301
特別利益		
固定資産売却益	9	152
特別利益合計	9	152
特別損失		
固定資産除却損	15,718	—
特別損失合計	15,718	—
税引前当期純利益	324,336	454,454
法人税、住民税及び事業税	143,506	181,406
法人税等調整額	△28,236	△26,625
法人税等合計	115,269	154,781
当期純利益	209,066	299,673

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	680,942	435,942	435,942	875,058	875,058	—	1,991,944	
当期変動額								
剰余金の配当	—	—	—	△35,953	△35,953	—	△35,953	
当期純利益	—	—	—	209,066	209,066	—	209,066	
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	
当期変動額合計	—	—	—	173,113	173,113	—	173,113	
当期末残高	680,942	435,942	435,942	1,048,172	1,048,172	—	2,165,057	

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	其他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計		
当期首残高	111	111	7,231	1,999,288
当期変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△35,953
当期純利益	—	—	—	209,066
自己株式の取得	—	—	—	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△110	△110	502	391
当期変動額合計	△110	△110	502	173,505
当期末残高	0	0	7,734	2,172,793

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	680,942	435,942	435,942	1,048,172	1,048,172	—	2,165,057
当期変動額							
剰余金の配当	—	—	—	△35,953	△35,953	—	△35,953
当期純利益	—	—	—	299,673	299,673	—	299,673
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△33	△33
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	—	263,719	263,719	△33	263,686
当期末残高	680,942	435,942	435,942	1,311,892	1,311,892	△33	2,428,743

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計		
当期首残高	0	0	7,734	2,172,793
当期変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△35,953
当期純利益	—	—	—	299,673
自己株式の取得	—	—	—	△33
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）	△31	△31	△798	△829
当期変動額合計	△31	△31	△798	262,856
当期末残高	△30	△30	6,936	2,435,649

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	324,336	454,454
減価償却費	74,699	78,256
株式報酬費用	939	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△9	△152
固定資産除却損	15,718	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	42,621	120,402
保証履行引当金の増減額 (△は減少)	39,860	6,269
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,672	1,627
受取利息及び受取配当金	△14	△16
支払利息	4,988	6,890
営業未収入金の増減額 (△は増加)	31,033	△13,527
求償債権の増減額 (△は増加)	△43,421	△118,695
収納代行立替金の増減額 (△は増加)	△729,095	△850,470
前払費用の増減額 (△は増加)	590	△7,266
長期前払費用の増減額 (△は増加)	1,841	1,123
営業未払金の増減額 (△は減少)	△18,519	29,248
未払金の増減額 (△は減少)	8,123	15,924
前受収益の増減額 (△は減少)	2,745	△7,749
収納代行預り金の増減額 (△は減少)	—	1,505,991
その他の資産の増減額 (△は増加)	2,201	3,037
その他の負債の増減額 (△は減少)	△11,133	800
小計	△249,819	1,226,150
利息及び配当金の受取額	14	16
利息の支払額	△5,069	△6,796
法人税等の支払額	△93,234	△166,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	△348,108	1,052,404
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△300	△24,230
無形固定資産の取得による支出	△50,456	△66,862
敷金及び保証金の差入による支出	△34,964	△1,052
資産除去債務の履行による支出	—	△1,254
有形固定資産の売却による収入	10	152
敷金及び保証金の回収による収入	—	15,597
その他	375	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,335	△77,650
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	700,000	△700,000
配当金の支払額	△35,832	△35,901
自己株式の取得による支出	—	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	664,167	△735,935
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	230,724	238,818
現金及び現金同等物の期首残高	425,257	655,981
現金及び現金同等物の期末残高	655,981	894,799

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)及び当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社の事業セグメントは、家賃債務保証事業のみの単一セグメントであり、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一のサービス区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦以外の外部顧客への営業収益がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	営業収益(千円)	関連するセグメント名
ライフカード株式会社	585,884	家賃債務保証事業

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一のサービス区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦以外の外部顧客への営業収益がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	営業収益(千円)	関連するセグメント名
ライフカード株式会社	702,813	家賃債務保証事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有しておりませんので、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	120.44円	135.11円
1株当たり当期純利益金額	11.63円	16.67円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—円	—円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	209,066	299,673
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	209,066	299,673
普通株式の期中平均株式数(株)	17,976,600	17,976,491
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権)(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第5回新株予約権 新株予約権の数 112個 第6回新株予約権 新株予約権の数 155個	第6回新株予約権 新株予約権の数 139個

(注) 2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。